

南海トラフ地震津波避難訓練

1. 実施日時、場所

平成〇〇年〇月〇日 (〇) 〇〇:〇〇～ 〇〇〇港

2. 参加者

- (1) 本船乗組員
- (2) 講習会参加の乗客

3. 訓練概要

(1) 訓練想定

- ・ 14時00分南海トラフ駿河湾～紀伊半島沖を震源とした震度6強の地震が発生。西日本を中心に広範囲に大津波警報が発令。
- ・ フェリーふ頭着岸中のフェリー〇〇〇丸は、緊急出港すべく機関準備するが、〇〇港内の橋崩落のため出港を断念し係留強化の上、船体を放棄。
- ・ 講習会の為乗船中の乗客150名および乗組員はフェリーターミナル屋上へ避難する事を決定。
- ・ フェリー埠頭への津波の最短到達時間は133分、津波高は1.64mに達し液状化により沈下したフェリーふ頭は浸水被害を被る。

(2) 訓練シナリオ

① 地震発生

- ・ 全船放送ナレーション

「訓練、訓練、ただいま、南海トラフが震源と思われる地震が発生しました。太平洋沿岸の区域には大津波警報が発令されました。直ちに水辺から避難して下さい」

② 本船判断

- ・ 船長は、操舵室に総指揮を設置。港内の橋崩落のため緊急出港を断念し津波の危険を避けるため総員退船と判断。
- ・ 甲板部・機関部に係留強化し船体放棄する準備に取り掛かるよう指示。
- ・ 乗客に状況を説明すると共に避難誘導配置に付くよう事務部へ指示。
- ・ 運航管理部へ船体放棄・総員退船の旨を伝える。

③ 状況説明および係留強化準備

- ・ 事務班は、船内放送で状況を説明するとともに旅客誘導のため、誘導員を配置につかせる。全船放送にて旅客に案内。

「訓練、訓練、お客様にご案内いたします。ただいま、東海から関西地方において大きな地震が発生し、この地区に大津波警報が発令されました。また、〇〇〇港内の橋崩落のため本船は、緊急出航を断念し、お客様にはこれより〇〇〇港フェリーターミナルへ避難して頂きます。津波の到達予想時刻までには十分に時間がございます係員の指示があるまでその場でお待ち下さい。」

- ・甲板部は船体法規に向け各船外ランプ格納の上、ラインを増し取りし係留強化を図る。
- ・機関部は機関室補機非常停止を実行し、燃料油潤滑油非常遮断弁を操作する。

④ 事務部配置

- ・事務長および補佐：インフォメーションカウンター前とし旅客誘導の指揮をする。
- ・各デッキリーダー：各デッキエントランス付近で各デッキの状況確認を行うと共に事務長への報告を行う。
- ・各デッキ担当者：担当デッキのパブリックスペースの配置とし状況をデッキリーダーに報告する。
- ・全船放送にて旅客に案内
「ご案内します。避難にあたり皆様には一列で出口に遠い方から行動して頂きますので、係員の指示に従い慌てず行動してください。勝手な行動は禁止します」
- ・デッキ担当者：担当者パブリックスペース内の乗客を整列させ、人数把握を図ると共に避難誘導開始まで繰り返し避難誘導手順および注意事項の説明を行う。
 - 誘導に際しての注意事項：落ち着いて行動する、手荷物は禁止する、勝手な行動の禁止等
 - フェリーふ頭における津波到達予想時間は16時33分1.63mであり時間的余裕は十分ある。フェリーターミナルは200mの距離で、徒歩で3分程度等、お客様に安心して頂けるよう説明

⑤ 避難誘導

- ・総指揮：(船内各所を順に避難誘導)
事務長に〇〇の避難を開始するよう指示する。
- ・事務長：各デッキ担当者へ誘導を開始するよう指示する
- ・デッキ担当者：乗客をターミナル屋上まで誘導する。各デッキリーダーは各箇所残留者が居ないことを確認し事務長へ当該箇所の避難完了を報告する。
- ・事務長：各所の避難終了を総指揮へ報告する。

⑥ 船体放棄準備完了および総指揮移動

- ・機関部：機関部の避難準備完了を総指揮へ報告する。
 - ・総指揮：機関部へ乗客の避難誘導を援助するよう指示する。
 - ・甲板部：係留を強化し、船体放棄準備が完了したことを総指揮へ報告する。
 - ・総指揮：甲板部へ乗客の避難誘導を援助するよう指示すると共に総指揮を事務部指揮本部（案内所前）に移動する。
-
- ・現地対策部：係留強化完了を対策部へ報告する。
 - ・対策部：現地対策部へ作業員・駐車場内残留者・ターミナル内残留者を伴いターミナル屋上へ避難するよう指示する。

⑦ 総員退船

- ・乗客の残留が無いことを確認し総員退船する。